

歯内療法の三種の神器

2025~2026

【編集・執筆】北村和夫 (日本歯科大学附属病院)

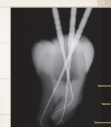
年々進化を遂げる三種の神器はもちろん、最新の根管洗浄法やバイオマテリアル、関連トピックスまで、機器・材料と臨床の最新情報を網羅!!!



Cone beam CT



Microscope



Ni-Ti Rotary File



2022年に当時の最新情報を盛り込んだMOOK『歯内療法の三種の神器 2023-2024』を発売しました。あれから2年、今回はMOOK『歯内療法の三種の神器 2025~2026』として、歯内療法における三種の神器をはじめ、関連機器や材料の最新情報と、それらを有効活用するための治療法やアイデアを網羅しました。前回、CBCTについては具体的な機種の特徴や使用方法を紹介できませんでしたが、今回は「Chapter1 歯科用コーンビームCT」で5社のCBCTの詳細を紹介しています。また、新たに「Chapter4 根管洗浄」を設け、さまざまな根管洗浄法を紹介しています。さらに「Chapter5 トピックス」では幅広い分野のテーマを取り上げています。その他のChapterにおいても最新情報を網羅しています。基本的に、前書とは内容的に重複している項目はありませんので、本書と併せて前書もお読みいただくことで、さらなる知識の蓄積に繋がりますので、併せてご購入ください。

A4判変型・268頁・オールカラー 本体9,000円+税



CONTENTS

Chapter 0 歯内療法の三種の神器と根管洗浄	Chapter 4 根管洗浄
Chapter 1 歯科用コーンビームCT	● シリンジを用いた根管洗浄
● 複合機の特徴	● EDDYを用いた根管洗浄 他
● 3D Accuitomo F17Dadva+の特徴と臨床 他	Chapter 5 バイオマテリアル
Chapter 2 歯科用マイクロスコープ	● MTAマルチシーラーの特徴と臨床
● Leica M320-D 4Kの特徴と臨床	● ヴェリコムWell pulp PTの特徴と臨床 他
● 進化した「eAria」の特徴と臨床 他	Chapter 6 トピックス
Chapter 3 Ni-Ti製ロータリーファイル	● 陥入歯の診断と治療
● トライオートZX2+の特徴と臨床	● 超音波マイクロチップを用いた歯周基本治療
● X-スマートProプラスの特徴と臨床 他	● 日本人に多いRadix Entomolarisの診断と治療 他